

◎申請法人・団体名： 日本ダウン症協会群馬支部

◎企画名： ダウン症巡回セミナー

◎配分額

3年間合計 834,000円（1年目 228,000円、2年目 236,000円、3年目 370,000円）

◎課題認識・解決の目標

ダウン症の子育てに必要な具体的な情報を得る機会が少ないため、親は専門職の方からの情報や指導に頼った子育ての傾向にある。また、専門職の方に障がいの特性や生活のしづらさが十分に伝わっていないため、本人の発達に繋がるチャンスを逃してしまう現状がある。そこで、親や専門職の方々が障がいの特性や必要な情報を学ぶための場として、巡回セミナーを実施していく。また、巡回セミナーの講師となる相談員を育成していく。

◎3年間の取組

<1年目>

- ・ポスターを作成し、必要な場所に掲示
- ・当会のHPに巡回セミナーのお知らせを掲載
- ・会員一斉メールでセミナー先を募る
- ・行政や大学へ、セミナー実施に向けてお願いをする。
- ・学校や福祉事業所等、家庭以外の生活する場所にセミナー実施に向けてお願いをする。
- ・研修相談員を募り、育成をする



<2年目>

- ・1年目の取り組みを続ける ・ご案内のためのリーフレットを作成
- ・保健師さんを通じて自立支援協議会に、実施に向けてお願いする
- ・研修相談員が講師として事例を話す



<3年目>

- ・1年目、2年目の取り組みを続ける
- ・手元に情報が残るよう、クリアホルダーを作成
- ・zoom契約をし、リモートでのセミナーを実施

<総括>

この3年間で、支援者が支援する側の困りごとではなく、本人にとって何が必要かを考えるようになった。今まで対外的な場所への実施が少なかったが、共同募金会様から認められている事業ということで信頼され、対外的な場所での実施件数が増えた。また、研修相談員が研修期間を経て相談員となる。

◎ステークホルダーの変化（利用者、対象者、参加者、連携先など）

医療系の大学では、患者として障がいのある当事者側の話聞くことの必要性を感じていただき、今後もセミナー開催を依頼される。

保健師さんとの連携により行政の理解を得て、自立支援協議会でのセミナーが実施された。

乳幼児期から成人期までの本人がかかわる事業所及び保育園やこども園でセミナーを実施した。

共同募金会様からのご紹介もあり、巡回セミナーが広がっていった。

◎できなかったこと、今後の課題

巡回セミナーの必要性を多くの方に知って頂くために SNS 等を利用し、さらに広くお伝えしていく。

巡回セミナーでお伝えする情報には限りがある。支援者が、すぐに実践し効果が得られるよう、講師が支援者の現場に出向き具体的なアドバイスをして実践できるよう、フォローアップセミナーを実施していく。